

Covid-19対策に向けた トヨタカスマイジング&ディベロップメントの対応の紹介

世界各地で感染が拡大している新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりの皆様に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、現在も闘病中の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。感染拡大防止に向け不眠不休で尽力されている医療関係者の方々には心から敬意を表します。

日本の救急車で大きなシェアを握る当社では、救急医療中の感染拡大防止に向けた開発を急ピッチで進めています。
海外依存品の国内生産化と搬送車両とのマッチングなど多くのメリットを提供できると考えています。

医療従事者に向けた 治療時飛沫感染防止機材の開発

次世代救急医療に向けた研究を共同で行っている都内大学病院の依頼で開発実験中。
4月下旬までには、現場実証に投入します。

COVID-19ばかりがクローズアップされますが、その他の感染症が減った訳ではありません。
防護機材が準備できない中で、患者個々をガードする機材の必要性がクローズアップされています。

医療用フェイスシールドだけでは防御しきれない、広範囲の飛沫拡散を最小限度に抑えます。

救急医療従事者に向けた 搬送時ウイルス感染防止機材の開発

世界的な流行の中で、特殊救急資機材は枯渇しています。大手繊維メーカーの出荷制限により入手困難になったウイルス除去フィルターの国内生産可能なメーカーとタイアップして、「陰圧搬送用簡易カプセル」の開発を進めています。

既に、試作を終え近日デリバリーが可能。
乾電池式にする事により、軽量化と電源の入手性。更に軽感染症者への対応も可能なようにしました。



ピニールの内側の空気を常に換気し特殊フィルターの搭載で、ウイルスの99.9995%以上を除去して排気します。

